



論点①②③に関する草案

本資料は原稿の確認用の資料となります。

デザインについては内容が確定次第の着手となりますのでご了承ください。

1.1 公的機関に求める取り組み～あるべき姿、対象範囲、取組期限～

1.1.1 あるべき姿

公式ホームページや関連サイトなどを含む、すべてのウェブコンテンツが、JIS X 8341-3 レベルAAに準拠していること

すべてのウェブコンテンツとは

- ウェブブラウザを介して提供される、すべてのウェブコンテンツ。
- 指定管理者を含む、外部事業者に委託して公開しているホームページも含む。

→ 詳しくは「1.1.2対象範囲と優先順位」を参照。

JIS X 8341-3 レベルAA準拠とは

JIS X 8341-3のレベルAの達成基準とレベルAAの達成基準を全て満たしている状態のことを指します（以下のパターン4）。

達成基準の準拠について

達成基準	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
レベルA	いくつか基準を満たしている	いくつか基準を満たしている	全ての基準を満たしている	全ての基準を満たしている
レベルAA	いくつか基準を満たしている	全ての基準を満たしている	いくつか基準を満たしている	全ての基準を満たしている
	レベルA 一部準拠	レベルA 一部準拠	レベルAA 一部準拠	レベルAA 準拠

→ レベルAとレベルAAの達成基準については「1.1.3 達成基準一覧」を参照。



注意

JIS X 8341-3の適合レベルAAに準拠していても、すべての利用者が問題なく利用できるとは限りません。
達成基準を満たすことに加えて、障害のある利用者による評価を定期的に行い、実際の使いやすさを確認しながら改善を続けることが重要です。

1.1 公的機関に求める取り組み～あるべき姿、対象範囲、取組期限～

1.1.2 いつまでに対応すべきか

可及的速やかに行うことが望ましい。ただし、重要なのは達成できていない基準を知り、それを公表すること。そしてあるべき姿に向かって取組を継続すること。

適合レベルAAへの準拠に向けた継続的な取組

ウェブサイトは日々更新されるため、アクセシビリティの確保・向上は、一度の対応で完了できるものではありません。

各機関は、自らのサイトの規模、運用体制、予算、利用者への影響等を踏まえ、段階的かつ継続的に改善を進めることが重要です。

どのような取組を行なっているかは、年に1回「ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表」を公開したり、JISによる試験を実施して、その結果を公表しましょう。

試験を実施し、仮にその結果、JIS X 8341-3の適合レベルAAに準拠できていない場合でも、試験結果と今後の改善予定を公表することが重要です。利用者は、試験結果からそのサイトの状況を知ることができるため、必要に応じて問い合わせ等の別の手段を選ぶことができます。また、改善に当たっては、JIS X 8341-3に基づく試験だけでなく、障害のある利用者の意見を聞く機会を設けるなど、実際の利用状況を踏まえて見直しを続けることが望まれます。

→ 詳しくは、「1.4ウェブアクセシビリティ向上の進め方」を参照

この節の
参照先

ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表
https://www.soumu.go.jp/info-accessibility-portal/webaccessibility/assets/documents/webaccessibility/guideline/torikumi_hyoka.xlsx

1.2 対象範囲と優先すべきコンテンツ

1.2.1 対象範囲

公式ホームページや関連サイトなどを含む、すべてのウェブコンテンツ。

ただし、管理しているウェブサイトが多岐にわたる場合、まずは公式ホームページ（スマートフォン向けサイトを含む）について最優先で対応しましょう。その他関連サイトについても優先順位を検討し、順次対応を行ってください。

① 最優先

- 公式ホームページ
(プラグイン等を用いて表示される、第三者が提供するコンテンツがある場合はそれも対象となります)

② その次に取り組むべきもの

- 関連サイト：公式ホームページとは別に管理運営しているホームページ
(例：観光用サイト、イベント用サイトなど、指定管理者を含む外部事業者に委託して公開しているものを含む。)

③ さらに範囲を広げられる場合

- ウェブアプリケーション、ウェブシステム（例：電子申請、施設予約、各種情報検索、蔵書検索など）
- KIOSK端末等で提供されるウェブコンテンツ（例：公共施設等に置かれたタッチパネル式の電子申請、施設予約など）
- CD等の媒体に収録して配布するウェブコンテンツ（例：マニュアルなど）
- 団体内で職員向けに運用するイントラネットのウェブコンテンツ
- 業務アプリケーション（例：文書管理、財務会計、住民情報管理など）のうち、ウェブ技術で作成され、ウェブ上で利用されるもの等
- SNSの公式アカウント（そこで提供されるコンテンツも対象に含まれます。)

△ 注意

スマートフォンアプリについては、JIS X 8341-3では基準を満たすことが困難な達成基準もあるため、開発の際には、文字色と背景色のコントラスト比や色の違い、リフローやテキストサイズの変更、ターゲットサイズに関する達成基準を満たすこと、また公開前には画面読み上げソフトでの確認を必ず行い、利用に制限がないかを確認した上で、提供することを徹底してください。

1.2 対象範囲と優先すべきコンテンツ

1.2.2 優先すべきコンテンツ

優先してアクセシビリティの向上をすべきコンテンツは以下となります。特に災害・防災関連情報、医療・健康に関する生命・身体の安全に関する情報や、利用できないことで、一部の人に経済的な不利益や損失をを与えかねない財産に関する情報などは、迅速な対応が必要です。

また、問合せに関する情報は、合理的配慮を行う上でも重要なので、必ずわかりやすい場所に設置しアクセシビリティを確保しましょう。

- 生命・身体の安全に関する情報やコンテンツ
(例：災害・防災関連情報、医療・健康に関する情報など)
- 財産に関わる情報
(例：給付金や補助などの情報など)
- 困った時に問合せできる手段の確保
(例：お問合せ先情報やお問合せフォームのアクセシビリティ)



注意

PDFファイルについて

優先すべきコンテンツの中にPDFファイルがある場合は、PDFファイル自体のアクセシビリティを高めるか、代替コンテンツとしてHTML版もしくはテキスト版(.txtもしくは.md)を提供しましょう。

1.3 JIS X 8341-3:2027（仮）達成基準一覧

知覚可能

1.1 テキストによる代替

- 1.1.1 非テキストコンテンツ（レベルA）

1.2 時間ベースのメディア

- 1.2.1 音声及び映像だけ（収録済み）（レベルA）
- 1.2.2 キャプション（収録済み）（レベルA）
- 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済み）（レベルA）
- 1.2.4 キャプション（ライブ）（レベルAA）
- 1.2.5 音声解説（収録済み）（レベルAA）

1.3 適応可能

- 1.3.1 情報及び関係性（レベルA）
- 1.3.2 意味をなすシーケンス（レベルA）
- 1.3.3 感覚による特性（レベルA）
- 1.3.4 向き（orientation）（レベルAA）
- 1.3.5 入力目的の特定（レベルAA）

1.4 判別可能

- 1.4.1 色の用途（レベルA）
- 1.4.2 音声の制御（レベルA）
- 1.4.3 コントラスト（最低限）（レベルAA）
- 1.4.4 テキストのサイズ変更（レベルAA）
- 1.4.5 文字画像（レベルAA）
- 1.4.10 リフロー（レベルAA）
- 1.4.11 非テキストのコントラスト（レベルAA）
- 1.4.12 テキストの間隔（レベルAA）
- 1.4.13 ホバー時又はフォーカス時のコンテンツ（レベルAA）

操作可能

2.1 キーボードアクセス可能

- 2.1.1 キーボード（レベルA）
- 2.1.2 キーボードトラップなし（レベルA）
- 2.1.4 文字キーによるショートカット（レベルA）

2.2 十分な時間

- 2.2.1 期限調節可能（レベルA）
- 2.2.2 一時停止・停止・非表示（レベルA）

2.3 発作及び身体的反応

- 2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下（レベルA）

2.4 ナビゲート可能

- 2.4.1 ブロックのバイパス（レベルA）
- 2.4.2 ページタイトル（レベルA）
- 2.4.3 フォーカス順序（レベルA）
- 2.4.4 リンクの目的（文脈内）（レベルA）
- 2.4.5 複数の経路（レベルAA）
- 2.4.6 見出し及びラベル（レベルAA）
- 2.4.7 フォーカスの可視化（レベルAA）
- 2.4.11 隠されないフォーカス（最低限）（レベルAA）

2.5 入力モダリティ

- 2.5.1 ポインタジェスチャ（レベルA）
- 2.5.2 ポインタキャンセル（レベルA）
- 2.5.3 ラベルを含む名前（name）（レベルA）
- 2.5.4 動きによる起動（レベルA）
- 2.5.7 ドラッグ動作（レベルAA）
- 2.5.8 ターゲットのサイズ（最低限）（レベルA）

理解可能

3.1 判読可能

- 3.1.1 ページの言語（レベルA）
- 3.1.2 一部分の言語（レベルAA）

3.2 予測可能

- 3.2.1 フォーカス時（レベルA）
- 3.2.2 入力時（レベルA）
- 3.2.3 一貫したナビゲーション（レベルAA）
- 3.2.4 一貫した識別性（レベルAA）
- 3.2.6 一貫したヘルプ

3.3 入力支援

- 3.3.1 エラーの特定（レベルA）
- 3.3.2 ラベル又は指示（レベルA）
- 3.3.3 エラーの修正提案（レベルAA）
- 3.3.4 誤り防止（法的・金融・データ）（レベルAA）
- 3.3.7 冗長な入力項目（レベルA）
- 3.3.8 アクセシブルな認証（最低限）（レベルAA）

堅牢（robust）

4.1 互換性

- 4.1.1 構文解析（廃止及び削除）
- 4.1.2 名前（name）・役割（role）・値（value）（レベルA）
- 4.1.3 ステータスメッセージ（レベルAA）

この節の 参照先

JIS X 8341-3やレベルAとAAの達成基準の詳細については、ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している、JIS X 8341-3:2016 解説及びWCAG2.2の解説書を参照ください。

- JIS X 8341-3とは（ウェブアクセシビリティ基盤委員会）<https://waic.jp/docs/jis2016/understanding/201604/>
- WCAG2.2 達成基準 <https://waic.jp/translations/WCAG22/#perceivable>

1.4 ウェブアクセシビリティ向上の進め方

ウェブアクセシビリティ向上の取り組みは、既存ページの改善でも、リニューアルや新規構築でも、一度にすべて対応するのは難しいものです。計画的に、段階を踏んで取り組みましょう。

既存サイトを改善する場合

- 既存サイトの改善では、まず自組織の現状を把握し、改善のスタート地点を定めます。共通部分、トップページ、優先すべきコンテンツがJIS X 8341-3の適合レベルAAに準拠しているかを確認し、満たしていない場合は速やかに改善します。その上で、継続的な改善へ進みます。

→ 詳しくは「1.4.1 既存サイトを改善する場合」を参照してください。

リニューアルや新規構築をする場合

- リニューアルや新規構築では、公開後の運用を見据え、アクセシビリティを維持・改善できる土台を作ることが重要です。共通部分、トップページ、優先すべきコンテンツが適合レベルAAに準拠できるよう設計・構築し、CMS、テンプレート、運用ルール等を整備します。

→ 詳しくは「1.4.2 リニューアルや新規構築をする場合」を参照してください。

1.4 ウェブアクセシビリティ向上の進め方

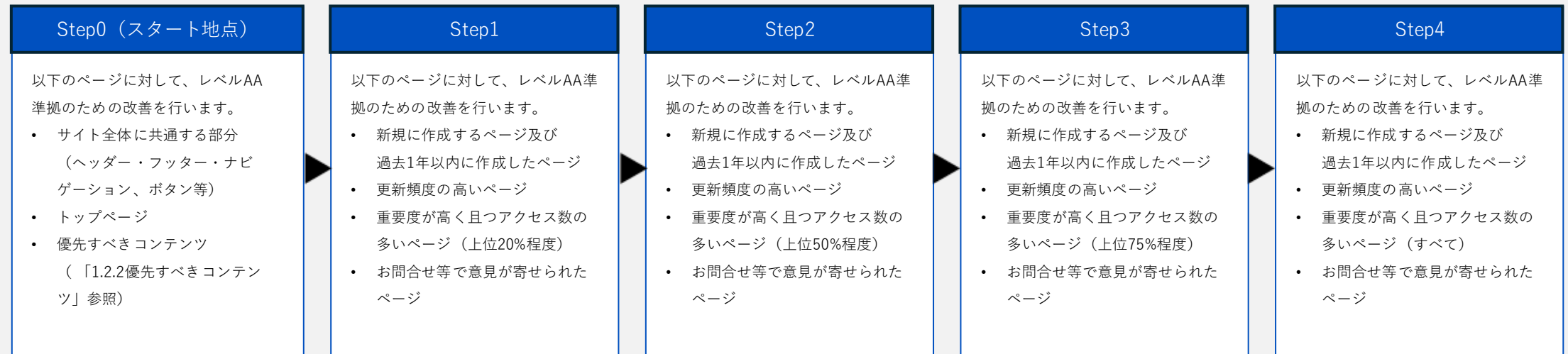
1.4.1 既存サイトを改善する場合

自団体の現状を把握して、スタート地点を定める

サイト全体に共通する部分（ヘッダーやフッター、ナビゲーション、ボタン等）、トップページ、優先すべきコンテンツ（「1.2.2優先すべきコンテンツ」参照）が、JIS X 8341-3の適合レベルAAに準拠しているかどうか、を起点としてスタート地点を考えます。

これらを満たせていない場合は、できるだけ速やかに改善を行います。それが完了したら、あるべき姿に向かって、Step1から進めます。

また、年に1回の「ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表」の公開やJISによる適合試験の実施とその結果の公開を行います。



注記

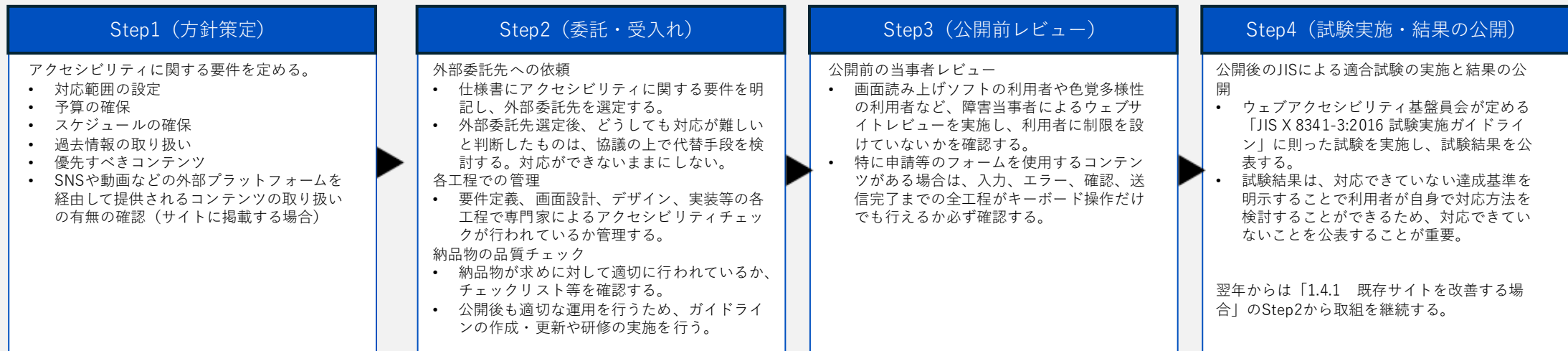
「重要度の高いページ」とは、利用者への影響度や法的な権利・義務・手続きに関する情報などを考慮して団体ごとに定めてください。また、各ステップで記載している割合（%）はあくまでもイメージなので、自団体のサイト規模や状況に合わせて調整してください。Step4まで完了した場合は「重要度が高く且つアクセス数の多いページ」の範囲を広げ、さらに改善を重ねましょう。

1.4 ウェブアクセシビリティ向上の進め方

1.4.2 リニューアルや新規構築をする場合

公開後もアクセシビリティを維持・改善できる土台を作る

リニューアルや新規構築では、公開後の運用も見据えて、アクセシビリティを維持・改善できる土台を作ります。大規模なウェブサイトでは、すべてのページでJIS X 8341-3の適合レベルAAへの準拠を確認することが難しい場合があります。そのため、サイト全体に共通する部分（ヘッダーやフッター、ナビゲーション、ボタン等）、トップページ、優先すべきコンテンツ（「1.2.2 優先すべきコンテンツ」参照）が、適合レベルAAに準拠できるよう設計・構築を進めます。あわせて、CMSテンプレート、運用ルール等を整備し、公開後の更新でもアクセシビリティを維持・改善できる状態を作ります。仕様書の書き方については、「x.x.x xxxxxxxxxx」（ページ確定次第記載）を参照してください。



注記

JIS X 8341-3 レベルAA準拠をあるべき姿としてサイト構築を行う場合、事前の要件定義や各工程での専門家によるチェックなど、アクセシビリティをあまり考慮せず行ったサイトリニューアルや新規構築よりも工数がかかります。そのため、予算やスケジュールを策定する際にはその点も考慮し、無理のない計画を立てることが重要です。